

20240213 「学校では、エコのために何か取組をしているのですか？」

先生方、3連休はいかがお過ごしでしたでしょうか。

さて、先週4年2組の子どもが、校長室にインタビューに来ました。内容は、「学校では、エコのために何か取組をしているのですか？」というものでした。「どんなことをしていると思いますか？」と聞き返すと、「特に思い当たらないよね。あまりやっていないのではないですか？」となかなか手厳しい、率直な感想というか認識が返ってきました。「持続可能な社会の担い手を育もう」というテーマで、ここ3年間、学校として進んできたのだけれど、その中で学んでいる子どもたち自身にその実感はないのかなと思うとともに、ようやくこういう問いを子ども自身が出し始めたのだなとの思いも強く持ちました。

小平第五小学校は、学校としての目立ったダイナミックな取組みこそあまりないかも知れませんが、2学期に実施した五小フェスティバルは、「五小SDGsフェスティバル」として、できる限りゴミを出さないお店作りを目指しました。ゴミの量は、毎回記録を残しているわけではないので、数値による比較はできませんが、前回の4年前と比べて明らかにゴミの量は少なかったという用務主事さんのお話でした。その他にも具体的にいくつか子どもたちに紹介しました。

- 環境委員会主催の「落ち葉掃き」→集めた落ち葉は、堆肥として畑の肥料にする。
- 職員室から出る印刷ミスや余ったプリント類は、裏紙として再利用する。
- 裏紙としても使えない紙は、資源ごみとして回収していただく。
- 図工室の「材料銀行」、1年生生活科の「お宝コーナー」では、使われな端材や空き箱などを集めておき、それを工作の材料にする。
- 6年生の「服のカプロジェクト」では、着なくなった服を集めて難民支援に送った。
- ふれあい委員会では、読まれなくなった本を集めて、その本を業者に買い取っていただき、お金を日本赤十字社に寄付している。
- 4年生では、着なくなったTシャツで「Tシャツエコバッグ」を作り、花小金井図書館へ寄贈している。
- 五小地区青少対は、秋に「5・GOマーケット」を行った。そこでは、使わなくなったもの、身近なものを再利用して作ったもの、手作り品などを子どもたちが持ち寄ってお店を開いた。収益金は、4年生の行った募金活動とあわせてWWFに寄付した。
- 3年生は、フードロスの学習から、給食の残さい調べを行って、残さいを減らすことを全校に呼びかけた。
- 3年生は、フードロスを減らすためのポップを作成して、いなげや花小金井駅前店に置いていただいてお買い物に来る方々にフードロス削減をアピールした。

その他にも、学年、学級、クラブや委員会等でエコのために取り組まれていることは、様々あると思います。学校全体として「これに取り組んでいる！」ということは、特別にはないかもしれませんが、「無駄をなくすことを心掛けたい！」「自分もみんなのために、地球環境のために何か行動したい！」という思いをこれからも広げていきたいですね。

インタビューをすすめる中で、「結構いろいろやっていたんですね！」と、子どもたちは笑顔になっていきました。エコをすすめることは、「面倒なこと」とではなく「笑顔を広げること」なのだなどと改めて感じました。このインタビューには、続きがあります。それは次号で。